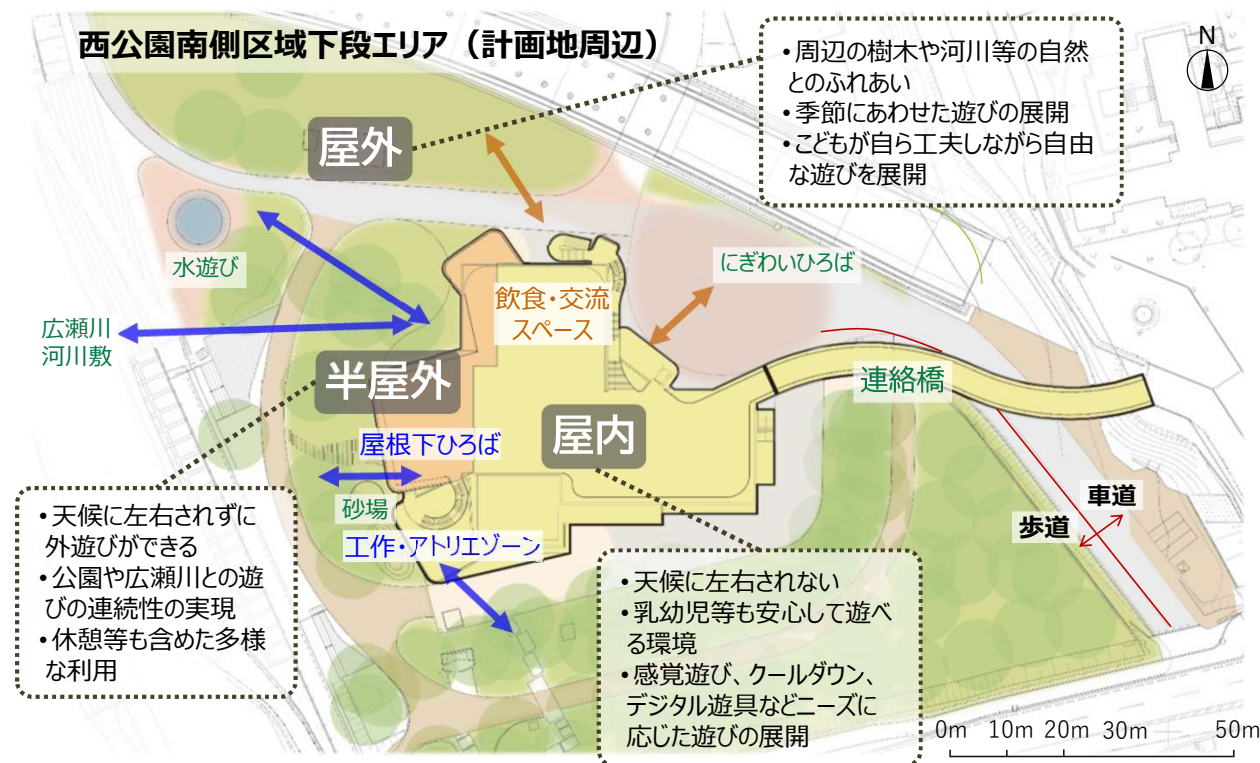


【基本設計に係る補足資料】配置計画①

資料2-3
R8.9.2
第104回審議会

※参考資料1-1「西公園屋内遊び場に関する第101回審議会での意見と回答・対応等」参照



■ 屋内と屋外で連続した遊びや活動の展開

- 半屋外ゾーンによる屋内と屋外の段階的な空間のつながりに加え、工作・アトリエゾーン(遊び)や飲食・交流スペース(交流・にぎわい)といった屋内と屋外で連続的に展開できる諸室を設けることで、屋内に留まらない活動ができる計画とします。
- 特に遊びについては、工作・アトリエゾーンにおいて、周辺にある保存樹林等の自然環境を活用しながら、木工や工作、お絵かきなどの、創作遊びに加えて、水遊びや砂場といった整備された遊びを展開し、広瀬川河川敷等を活用した屋外の遊び機能も含めて、こどもの成長や発達段階に合わせた遊びができる計画とします。

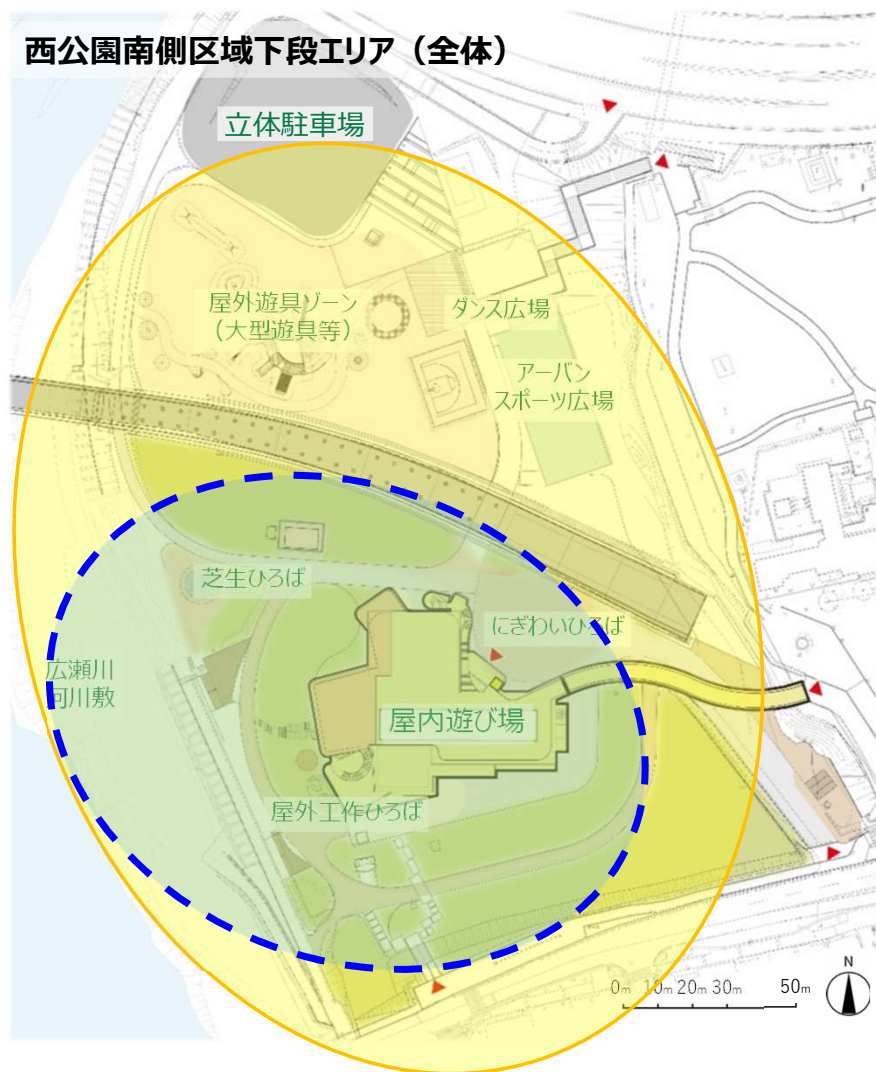
■ 地下鉄駅・大坂側からの安全な動線の確保

- 地下鉄駅から施設まで、連絡橋による新たな歩行者動線を確保することで主たる動線の歩車分離を図ります。
- 大坂側からの動線については、ボラードによる歩車分離を行うとともに、車路幅を拡幅することで、車両(バス等)と歩行者が円滑に本施設にアクセスできる計画とします。

【基本設計に係る補足資料】配置計画②

※参考資料1-1「西公園屋内遊び場に関する第101回審議会での意見と回答・対応等」参照

西公園南側区域下段エリア（全体）



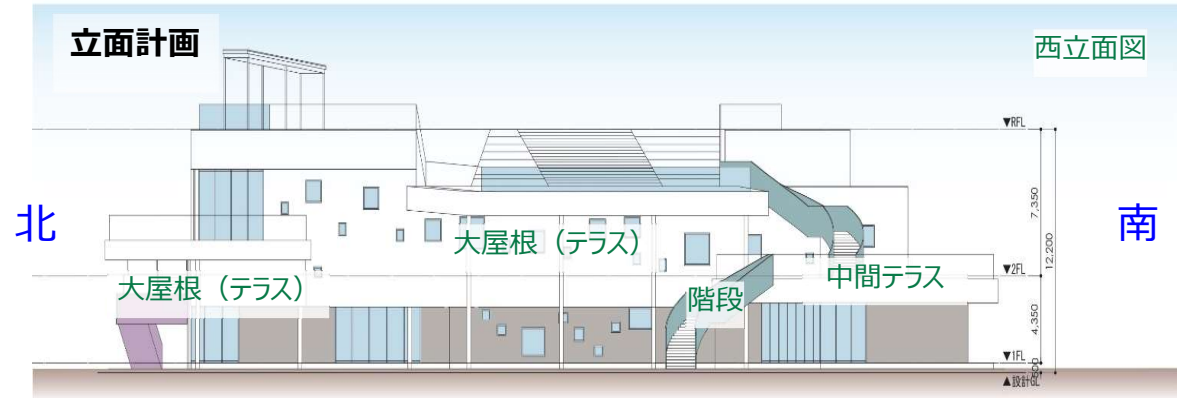
■ 西公園下段における遊び等活動の関係性

- 西公園下段全体として、幅広い年齢層のアクティビティや遊びを支える空間とし、北側部分については、アーバンスポーツ広場・ダンス広場、屋外遊具ゾーンとします。
- 南側部分については小学生以下を対象として、屋内遊び、広瀬川における水遊びや保存樹林での自然交流遊びを行う空間とします。
- これらの施設を歩行者動線でつなぎ、回遊性を高めることで、西公園下段全体として幅広い年齢層のアクティビティ・遊び活動が展開される計画とします。

幅広い年齢層のアクティビティや遊びを支える空間

主に小学生以下を対象とした遊びの空間

【基本設計に係る補足資料】配置計画③



■ 広瀬川からの眺望への配慮

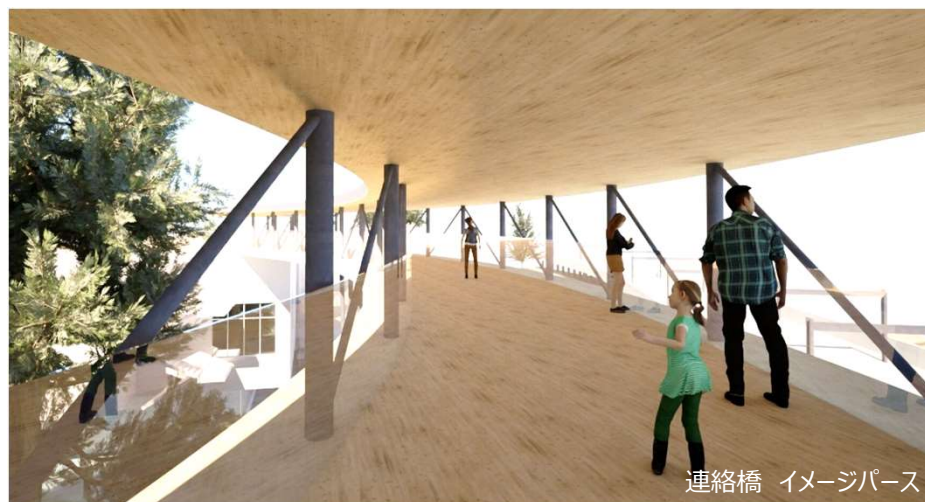
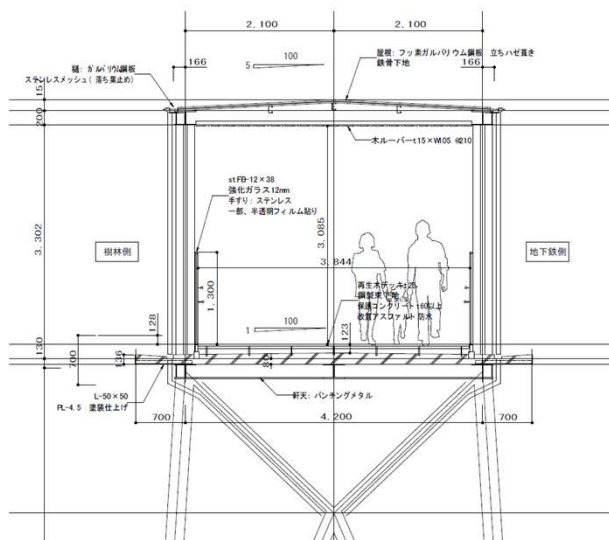
- 高さの異なる大屋根を階段状に配置し、西側からの視覚的な圧迫感を緩和するなど、景観と施設機能の両立を図る計画とします。
- 広瀬川の清流を守る条例に定める色彩基準に準拠しながら、こどもの遊び場らしさを感じられる、わくわく感のある外観デザインを目指します。



【基本設計に係る補足資料】連絡橋①



- 大町西公園駅から施設までの移動円滑化を図り、高低差に対応したアクセス環境の確保した園路として連絡橋を整備します。
- 公園の景観と調和する構造や色彩としつつ、本施設屋上へのアプローチとします。



【連絡橋概要】

- 規模…全長約64m×幅4m、高さ12m
- 構造種別…鉄骨造
- 構造形式…トラス構造
- 基礎形式…杭基礎または地盤改良

[illegible]

- 基礎サイズ
4m×6.6m×1.8m程度
- 掘削範囲についても既存樹木の根や自然崖への影響に配慮し、施工していきます。
10m×12.6m×1.8m程度
- 既存樹木や自然崖への影響に配慮し、今後、構造等の詳細を確定していきます。

